

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
議長(臼井会長)	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>「(1) 令和3年度入間市地域包括支援センター運営方針について」</p> <p>を議題とする。事務局から説明をお願いする。</p>
亀田主幹	<p>資料1-1 令和3年度 入間市地域包括支援センター運営方針 (案)</p> <p>資料1-2 令和2年度 入間市地域包括支援センター運営方針</p> <p>資料1-3 入間市地域包括支援センター運営方針新旧対照表</p> <p>資料1-4 日常生活圏域別人口等</p> <p>を用いて説明。</p>
議長(臼井会長)	<p>事務局から説明があった。各委員のご意見をいただきたい。</p>
川名委員	<p>資料1-1のp7について、住民主体の通いの場(通所型サービスB)の拡充を図るとあるが、まだ立ち上がっていない地区での新規立ち上げを目指すという認識でよいか。また、その際地域包括支援センターはそのコーディネーター役を担うのか。</p>
亀田主幹	<p>まだ立ち上がっていない地区での新規立ち上げを目指すものである。</p> <p>9圏域中5圏域ではまだ立ち上がっていないため、容易に行えるものではないと理解しているが、ボランティア養成講座を実施し立ち上げに向けて働きかけていく。その際は地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携をしていく。</p>
議長(臼井会長)	<p>9圏域での立ち上げについて、期限の設定はあるか。</p>
亀田主幹	<p>次期の介護保険事業計画に指標として掲げる予定であり、令和3年度から3年間で立ち上げを行いたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
若井委員	在宅医療支援センターについて、市民の認知度は低いと感じている。今後の具体的なPR方法について伺いたい。
亀田主幹	確かに認知度の低さは否めないと感じている。現在、在宅医療支援センターでは、ケアマネジャーと医療職の連携システムの導入を検討しており、今後市民への周知も必要になると考えるので、具体的な方法をこの場で示すことはできないが、様々な媒体を用いて周知を行っていきたい。
若井委員	業務内容の性質上、地域の方々への周知は難しい面もあると思うが、重要なことなので今後どのように周知を行っていくのか考えていただきたい。
瀧澤委員	資料1-1 p7の一般介護予防業務について、新たに項目が追加されたが、これは今まで業務自体を行っていたものを改めて文章として追加したものなのか、事業自体新規で追加したものなのか伺いたい。
亀田主幹	<p>以前より各地域包括支援センターにて実施していたところではあるが、運営方針には記載がなかったため今回新たに追加した次第である。</p> <p>男性参加者の増加を図ることについても記載したが、男性の参加率の低さは全国的に統計が出ているところであり、改めて運営方針にも掲げること、力を入れて取り組んでいきたいという思いもあり記載した。</p>
川名委員	男性参加者の増加を図ることについて、文章化すると地域包括支援センターの重荷になり業務を行う上で負担になってしまうのではないかと感じる。
瀧澤委員 議長(臼井会長)	健康福祉センター3階で行っているスポーツジムの男性利用者はかなり多いように見受けられる。私は別のスポーツジムに通っているが、そこでも男性利用者は多い。そこで男性利用者同士で集まって情報共有をしている場面も度々見かける。
瀧澤委員	行政や包括が企画をしても市民が乗ってこない様子をよく見る。課題

発 言 者	発 言 内 容
議長(白井会長)	<p>の一つはそこにあると思う。</p>
議長(白井会長)	<p>公民館で様々な活動のポスターが掲示されており、女性には見ていただいているが、男性はあまり見ていないのではないかと感じる。</p>
亀田主幹	<p>男性参加者の増加について掲載した経緯として、昨年的一般介護予防事業参加者の男女比が2:8であった実態があった。また、次期介護保険事業計画でも男性参加者の増加を掲げる予定である。課題として文章化することで事業に発展性が生まれることも期待して、今回記載をした。</p>
委員各位	<p>異議なし。</p>
若井委員	<p>介護予防の普及啓発についても掲げているが、個人情報の関係で難しさを感じることはあるか。</p>
亀田主幹	<p>一般介護予防事業は65歳以上の方全体を対象とした事業であり、参加希望者に参加をしてもらうものなので個人情報の面で難しさを感じたことはない。また、収集した個人情報についても保護をしている。</p>
若井委員	<p>確かに、ボランティア活動をする際、地域包括支援センターに介護予防教室の参加者の情報提供をお願いしたが、個人情報の関係で聞き出せないことがあった。個人情報の問題は、様々な面で難さを感じている。</p>
議長(白井会長)	<p>次に「(2)地域密着型サービス事業所の運営推進会議について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。</p>
沼井主幹	<p>地域密着型サービス事業所の運営推進会議について説明</p>
議長(白井会長)	<p>事務局から説明があった。各委員のご意見をいただきたい。</p>
川名委員	<p>居宅介護支援事業所等の研修の講師として活動していたが、新型コロナ</p>

発 言 者	発 言 内 容
大澤委員	<p>ナウイルス感染症の流行以降は研修も中止になっている。デイサービス等でもボランティアを呼んで手芸教室等行う事例があると思うが、現在の状況について伺いたい。</p>
沼井主幹	<p>家族の面会自体も中止している施設がほとんどである。そんな中、施設への理美容については徐々に再開が始まっている。厚生労働省からは、面会等の再開についての呼びかけもあったので、今後は再開に向けて進んでいくのではないかと思う。</p>
議長(臼井会長)	<p>事業所の判断により、外部との面会を中止しているところがほとんどだと伺っている。</p>
委員各位	<p>次に、「(3) その他」の議題とする。</p>
議長(臼井会長)	<p>意見等なし</p>
議長(臼井会長)	<p>以上で本日の議題を終了する。</p>

議事の内容を末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令 2 年 12 月 2 日

議 長 の 署 名

臼井 秀